



### TOPIC

## 劇団おんず 自主公演開催

劇団おんずは2014年に再結成後、町内会、子ども会、児童館、児童クラブ、老人保健施設、介護教室等で公演を続けてきました。コロナの影響により三年間は活動休止をやむなくされましたが、昨年より活動再開。引き続き勢力的に移動公演をしています。

2月の自主公演は、デーリー東北新春短編小説で第一席を受賞した作品に出会った事がきっかけ。

この小説を読んだとき、「これだ!」と胸が高鳴り劇にしたい、演じたいと居ても立ってもいられないくらい興奮しました。そして、デーリー東北の担当の方に電話をして、原作者である山口実可さんに繋げて頂きました。山口さんの電話でのお声は小説の登場人物の様に優しく、「いいですよ。」と脚本化する事をすぐに快諾してくださいました。私の興奮はマックスに! そして、うちの劇団の脚本を何本も手がけて下さっている加藤健太郎さんをお願いしました。その脚本がまた面白かった。小説を元にエピソードを加え夫婦のやり取りが見えてくる面白くもちょっと切なくてほんわかとあったか毛布に包み込まれる様なお話に。その脚本家が私の相手役だからまたまた心が入る、まるで魂が見えるよう。稽古終わりの時間を見て驚く。「えー、40分?」短くも深いお話。「おべでら」。

あとひとつのお話「地震海鳴りほら津波」うちの劇団が2014年に再結成してすぐに作ったショートストーリー。児童館や小学校での防災教室でも公演をさせて頂いた馴染みの作品。今回は広い年齢層の方々に観て頂きたいとの思いから、同時上演の演目を選びました。おいらせ町に実際あった津波の被害。町内の永井ハチローさん原作を脚本化しました。

今、地震がきたら…昔の事と片付けてしまうのは容易い。

先人達が教え伝えてきた事。

劇を通して皆様に伝える事が出来たら。

精一杯演じさせていただきます。

どうぞ2月18日(日)は足をお運びくださいます様に宜しくお願い致します。

皆様に会場でお会いできる事を楽しみにしております。



〈劇団おんず自主公演〉「おべでら」  
原作/山口実可(デーリー東北新春小説第一席作品)  
脚色/加藤健太郎(劇団INTELVISTA)

「地震海鳴りほら津波」  
原作/永井ハチロー 脚色/中村貴子

2024年2月18日(日) 開場13:30 開演14:00

【会場】おいらせ町民交流センター  
【入場料】前売¥1,000(当日¥1,200)  
小学生以下の観覧無料

※入場整理券が必要です ※未就学児の入場はご遠慮ください

【問合せ・チケット購入】中村 090-3755-5362  
または各キャストまで

【出演】中村貴子・加藤健太郎(劇団INTELVISTA)・磯沼寿美子  
磯沼秀樹・姥名久美子

【後援】おいらせ町教育委員会・おいらせ町文化協会

### 〈theater information〉



#### 第11回うみねこ演劇塾発表会

【日時】2024.1.6(土)

12:45開場/13:30開演

【会場】八戸市民館

【料金】子ども前売¥600(小学生以上・大人共通)

※税込み、全席自由 ※当日券はありません

【チケット取扱】八戸市民館・八戸市南郷文化ホール

ラピア・はっち・八戸市民劇場(のだビル5F)

【問合せ】八戸市民館 ☎0178-45-1511



#### アートキャラバン2 「劇場に行こう!ダンスをみよう!」 日本全国Danceキャラバン2023!

##### 「プロメテアの火」

【日時】〈八戸公演〉

2024.1.27(土)19:00開演

2024.1.28(日)14:00開演

(開場は各開演の30分前)

【場所】八戸市公会堂 大ホール

【料金】¥2,000(全自由席)

【チケット取扱】八戸市公会堂

【主催】一般社団法人現代舞踊協会

【問合せ】プロメテアの火実行委員会

☎03-5457-7731



#### 寺山修司没後40年 特別企画展 vol.2 「ポスト・テラヤマ 1983-2023 寺山修司がいなかった40年」

【日時】2024.6.4(火)まで

開館時間9:00~17:00(入館は16:30まで)

【場所】三沢市寺山修司記念館

エギジビットホール

【料金】一般個人 ¥550

(常設展¥330+企画展¥220)

一般団体 ¥440(20名以上)

高大生¥110 小中学生¥60

※土曜日は、小中学生無料

※障がい者手帳呈示の場合、本人と介護者1名は全額免除

【問合せ】三沢市寺山修司記念館

☎0176-59-3434

### 〈スペースベン 1月の予定〉

#### FANS 予定 第1561~1564回

毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)

「だべり場」「かたり場」「ほだれ場」随時開催しています

#### 〈Dance Lesson〉

- 毎週月曜日 19:00-20:00/あつし HIPHOP ※1/1(月)はお休み
- 毎週火曜日 20:15-21:45/KAZU HIPHOP DANCE SCHOOL ※1/2(火)はお休み
- 最終水曜日 19:30-20:30/SEGA HIPHOP ※1/3(水)はお休み
- 毎週土曜日 16:30-18:00/BRE FAM HOUSE DANCE HARUクラス ※1/27(土)はお休み

#### 〈古典戯曲を味わう会〉

国内外の古典戯曲から参加者で選んだ作品を読み、楽しむ企画です。

■毎月第1・3水曜日 19:00-21:00予定 ※参加費¥100。Zoomにて開催中。日時等変更になる場合があります。

#### 〈Free Column〉

## 劇場の 片隅から

文/加藤 健太郎  
(劇団INTELVISTA)

「来年、勤続30年の表彰をしてもらえそうだ。その7年前から演劇をやってるから、なんだかんだで40年近く芝居をしているってことになる。その間、1年も休んだことない。ちょっと自慢したいが、誰に自慢したらいいかわからないし、そもそも自慢出来ることなのか?もしかしたら、世間からは笑われることなのかもしれないな。それで飯を食っているわけじゃないからね。親父が死んだ年も、お袋が死んだ年も、自分が生存率40パーセントの心臓の手術を受けた年も、舞台に立った。いっせ、舞台上で死ぬのもカッコいいかと東京の演出に話したら、周りが迷惑だから絶対に止めてくれと言われた。そりゃそうだよな。まわりを見渡しゃ、同い年の仲間や高校の演劇部の先輩達も、だあれも居やしない。なんで俺だけ続ける?なんのために続けてる?そんな問いも、もうとっくの昔の話だなあ。ん、まてよ、もしかして、相談に乗ってくれる人が周りからいなくなっていたから、俺は芝居を続けていたのか?なんだそうか、なら、まだまだこのまま、躓きながら行くしかねえな。」

特別寄稿

# 第11回南部弁の日の覚え書き

文/田中 勉 (スペースベン 主宰)



〈第11回南部弁の日より〉

令和5年も「南部弁の日」の制作・舞台監督として携わることが出来ました。12月2～3日ははっちに於いて、11日は昨年に引き続き2回目となる八戸市公民館(公会堂文化ホール)での開催。

郷土史家の正部家種康さんの一周忌(2013)を追悼し、また、「南部弁ばなぐしたぐねえ、残してじゃあ!」との思いで、十日市秀悦さんはじめ賛同した仲間たちの「からこしゃぐ(おせっかい)」が始まりました。

2～3日は、はっちひろばに於いて、ボランティア書道教室俊文書道会の書き初めから始まり、八戸童話会 森のおとぎ会のみなさんによる出張街のおとぎ会、続いて、南部弁で歌おう～! カラオケ大会、夕方からは場所をシアター2に移動して、爆笑日替わりトークが開催されました。

翌週10日は、八戸市公民館(公会堂文化ホール)に於いて、レギュラー陣の瀬川さとしさん、大地球さん、中島美華さん、あどぼるーん(小野さん、新山さん)、山田夢子さん、古屋敷裕大さん、泉萌子さん、小野寺亨さん、十日市秀悦さん、そして今年から参加の真理奈さん、KANTAさんの総勢12名と、第100回を迎えた八戸童話会(森のおとぎ会)のみなさん、山車組の神明宮グループのみなさん、そしてそして、若者陣は千葉学園高等学校看護専攻科と医師会立八戸看護学院のみなさん、そしてそして、舞台美術として書を書いて提供くださった俊文書道会のみなさん、総勢70名の出演者で約2時間走り抜けました。

お客さまも前回同様たくさんのお客様にご覧いただき、盛況のうちに終わることが出来ました。開場前からたくさんのお客様がお並びになり、寒い中ご不便をおかけしたことと思います。次回に向けより一層楽しんでいただけるよう、努めて参ります。

## 南部弁クイズ! あなたはいつ分かりますか?

- ぎゃぐり(がいぐり・げぐり)
- やめる
- このげ
- きへわりい
- ふむぐる
- まなぐ
- おずけ
- のめくる
- げほ
- あめる
- げっぱ
- はなぶちよげ
- かぶける
- はらぼつけ
- あぐど
- いたわしい
- ゆるぐね
- きつくらへつき(きつくらへんぎ)
- だくめぐ

■ 第11回南部弁の日スペシャル  
「はっちがずっぱど南部弁」  
2023.12.2(日)・3(日)  
八戸ポータルミュージアム はっち

■ 「第11回南部弁の日」  
2023.12.10(日)  
八戸市公会堂文化ホール



〈はっちがずっぱど南部弁 より〉



## FANSで上演・LIVEをやってみませんか?

ジャンルは問いませんので、まずはお気軽にご相談ください



Director

田中 勉

〒031-0081 八戸市柏崎1-11-8  
mobile 080(6025)0990 Fax.050(3588)8350  
e-mail owner@spaceben.com

<https://spaceben.com/>

crossingcafe fanscross crossingcafe crossingcafe YouTube @fanscafe



アパホテル

←至三日町

セブンイレブン

すこやかホーム

ゆうゆう

R45

至港高台方面↓

NTT

## FANSってなんだ!?

小劇場「スペースベン」にて、毎週金曜日の夜7時30分から、約30分の芝居を楽しんでいただく企画です。芝居に限らずライブ・ダンス等、ジャンルの枠にとらわれず、金曜日の夜には“ここで何かおもしろい事を行っている”という場になればと思います。なお、料金は特別番組以外全て前売り500円、学生は200円です(当日100円増し)。上演の場を求めている方、刺激を求めているあなた、ご連絡お待ちしております。